

「サービス倫理委員会もChallenge Change」

取組の内容

榎葉町立榎葉小学校

本校の教育目標は「Challenge Change」である。マンネリ化を防ぐため、サービス倫理委員会においても実施方法等を「Challenge Change」した。

その取組を紹介する。

1 交通事故防止宣言

本校に勤務する職員のうち、約半数が南相馬市やいわき市から通勤している。遠距離通勤のため速度超過や交通事故の発生が懸念されることから、年度初めに、職員全員が「交通事故防止宣言」をした。「3つの10を守り、ゆとりをもって運転します」といった交通事故を防止するための5項目について、全員が確認し署名をすることで、交通事故防止の意識を高めた。

榎葉小学校職員の交通事故防止宣言	
榎葉小学校徹底事項	
1 3つの10を守り、ゆとりをもって運転します。 (10分早めの出勤、10%減速、十分な車間距離) 2 交通規則の順守に努め、交通事故ゼロをめざします。 3 飲酒運転は絶対しません。 4 速度違反はしません。(30km/h以上は絶対に) 5 シートベルトを必ず着用します。	
令和5年5月	
1	1.3
2	1.4

2 外部講師の活用

1学期最後のサービス倫理委員会では、双葉警察署員を招いて、「交通事故防止」についての講話をしていただいた。「ハインリッヒの法則による危機回避」や「飲酒によるアルコールが身体に及ぼす影響」などについて話していただいたことで、長距離運転をする機会が多くなることが想定される長期休暇を前に、職員は交通事故防止の意識を一層高めることができた。



3 年齢構成に配慮したグループ編成

年に4回サービス倫理委員会を開催している。各分野ごとにグループ分けを行い、内容については管理職が設定するのではなく、各グループの担当が主体となりそれぞれのグループで事例研究等の計画を立て進めるようにしている。「パワーハラスメント」についてのサービス倫理委員会では、年齢構成に配慮したグループ編成でグループ協議を実施した。各年代によってハラスメントの受け止め方等に違いがあることに気づき、ハラスメントを防ぐためにどうすればよいかということについて、多角的に考えることができた。

成果と課題

- 本校においては特に交通違反や交通事故が懸念されるが、これまで全員が無事故無違反である。一人一人の交通事故防止の意識を高めることができたと言えるだろう。
- 今年度は「無事故無違反」に重点を置いてサービス倫理委員会を実施した。不祥事を防止するためには、他にも取り組まなければならないことは多々ある。次年度以降も軽重をつけながら、マンネリ化しないようにサービス倫理委員会を進めていきたい。